

# 西野工務店ラオス海外事業

2017/6

## 日本国内での事業内容



### ラオス人技術者日本招待事業

#### JICA草の根事業・HIDA日本研修事業によるラオス人リーダー育成

西野工務店は海外事業展開を、人材教育事業と市場参入それぞれを独立させ、かつ連携させながら進めています。

人材育成において、最重要と位置づけているのがラオス人のリーダー育成です。

リーダーとなるべく人材をラオスで基礎教育を行い、その資質のある人材を日本に招き、日本の職人による日本での直接教育を2016年より行っています。



日本人指導員から基礎技術を学ぶ様子



研修生が加工した日本の伝統工法による軸組



HIDA 日本語研修センターへ(50日研修)

## ラオス国内での事業内容



### JICA草の根事業

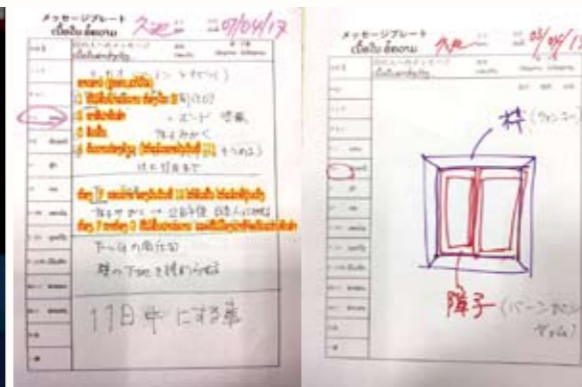
#### ODAによる技術者教育・起業就業支援(CP職業訓練校)

日本の職人技術はまだ世界に必要とされています。今必要とされているのはそれを伝える技術です。途上国では読み書きそろばんが出来ない人もたくさんいます。その人達にどのように伝えるか、社会で認められる人材にどのように育てるか。

毎日、日本とラオスをスカイプ・LINE でつないで、仕事をこなしながら少しずつその教育技術の向上にむけ実践を積み上げています。



毎日朝8時から SKYPE で顔を見ながらのミーティング



夕方にはその日の報告が写真と日報で送られてきます。

## 事業育成ビジョン

### 本事業の成否は人材教育

ラオス人のリーダーをどのようにして育てるか、現地で起業を目指す人材を輩出できるか、2012年から現地工場で訓練を続けてきた人材がリーダーとして頭角を現し始めています。彼らをモデルとした更なる産業人材育成を続けていきます。

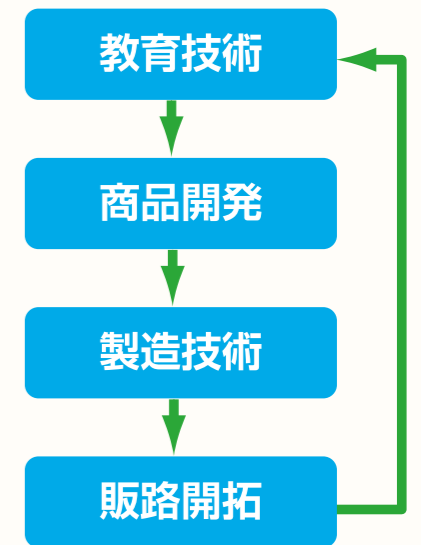
### 人材育成とビジネス展開を両輪で

#### 社会の声を商品・サービスとして提供できる産業人材を教育 住宅建設事業開始

西野工務店は2015年、現地国営職業訓練校とMOUを締結し、技術者教育事業継続のために、現地で商業許可を得ています。現在、ラオスの木材を活用した現代木造建築工法を確立、住宅や集合住宅建設をはじめ、ストック建築物のリノベーション事業を開始しています。

#### 木製品製造販売開始(ラオス・日本)

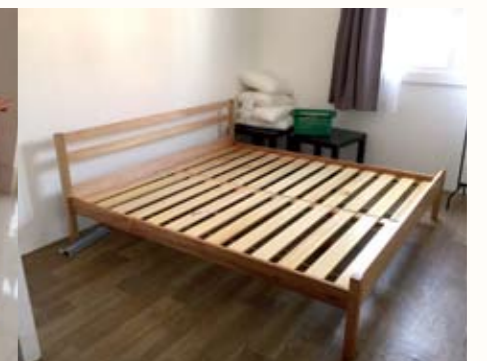
この事業は建設事業と並行し、ラオス国の要望でもあるラオスの木材を使い、政界に通用する木加工商品を作り、販売する事を実現化し、ラオス国内はもとより周辺国、そして日本での販売を視野にまず、ラオス国内での販売を開始しました。



ラオス向け木造フレームモデル



ベッドやイス等の家具を製作・販売しています。



## ラオスも日本も元気に

### 国際協力を通じた地域活性化

JICA 草の根事業では、ラオスでの人材育成を行う途上国支援と海外との関係を構築、経済・人材交流による地域の活性化を目指しています。

地域の空き家問題を解決すべく、空き家リノベーションモデルを若狭町・福井大学と産官学連携で取り組み、新たな地域の特色・まちづくりに取り組んでいきます。



JICA 草の根事業調印式 2016年12月